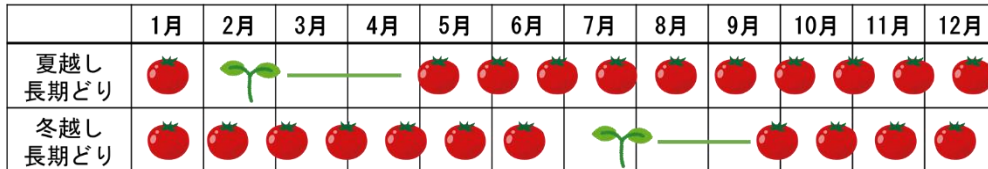


ミディトマト ‘華小町’ の夏越し長期どり栽培

ミディトマト周年栽培のさらなる増収を図るため、夏越し長期どり栽培技術を開発しました。基本的な栽培管理は慣行の冬越し長期どり栽培と変わりませんが、パット&ファンを利用した冷房と加湿、強勢台木を利用することで、盛夏期でも栽培が可能となり、大幅な増収効果が得られます。

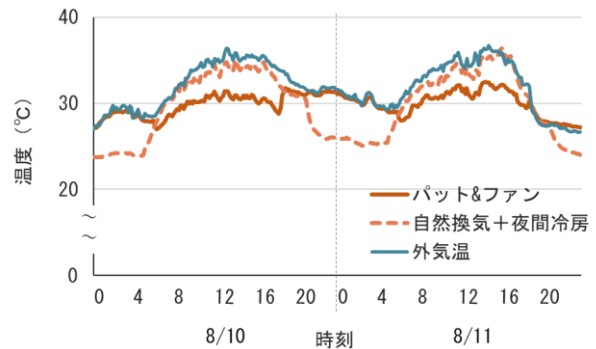
1 作型

2月下旬に定植し、5月上旬から1月まで収穫します。



2 パット&ファンを活用した昇温抑制

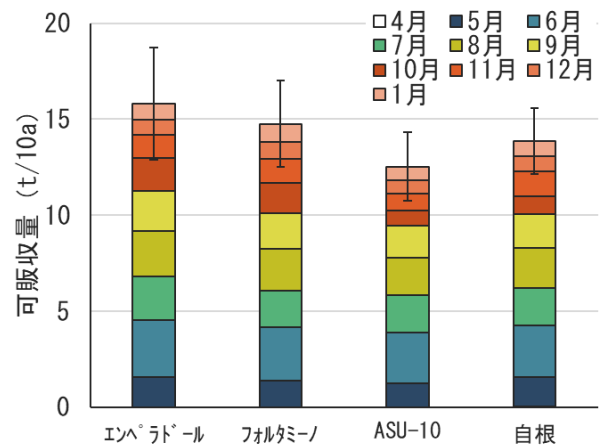
冷房運転は、26℃で換気扇作動、28℃でパッドに水を流すポンプを作動するように設定します。冷房運転と遮光カーテンの併用により、外気温が最高37℃まで上昇した日でも、日中のハウス内気温は32℃程度に抑えられます。また、日中の相対湿度が80%程度に上昇し、飽差は3~7 g/m³に抑えられ、光合成に適した環境になります。



パット&ファン冷房運転による猛暑日のハウス内気温の違い

3 強勢台木の利用

‘華小町’を強勢台木‘エンペラドール’に接ぎ木することで、茎径や根の量が大きくなり、着果負担の大きい時期や、夏季の高温・強光下でも草勢を維持しやすくなります。収穫果数および1果重が増加し、収量は15.8t/10aと、自根に比べて約15%増収します。



台木品種別の10aあたりの月別可販収量

【技術の効果およびコスト】

大規模経営体 (50a) の経営試算 (単位:千円)

収入	売上高	56,880	79 t × 720円/kg			
支出	栽培経費	4,960	自根苗@216→接木苗@371 155円増×12,000本	販売経費	12,100	出荷量増比例
	光熱費	10,909	有圧ファン併用型パット&ファン 運転期間: 4月~10月 電気料 1,700千円 増	減価償却費	5,293	有圧ファン併用型パット&ファン 1,059千円 (24,710千円×0.3÷7) ヒートポンプ △466千円
	人件費	7,600	収量増による収穫・出荷作業増	その他	700	
	小計	41,562				
利益		15,318				